

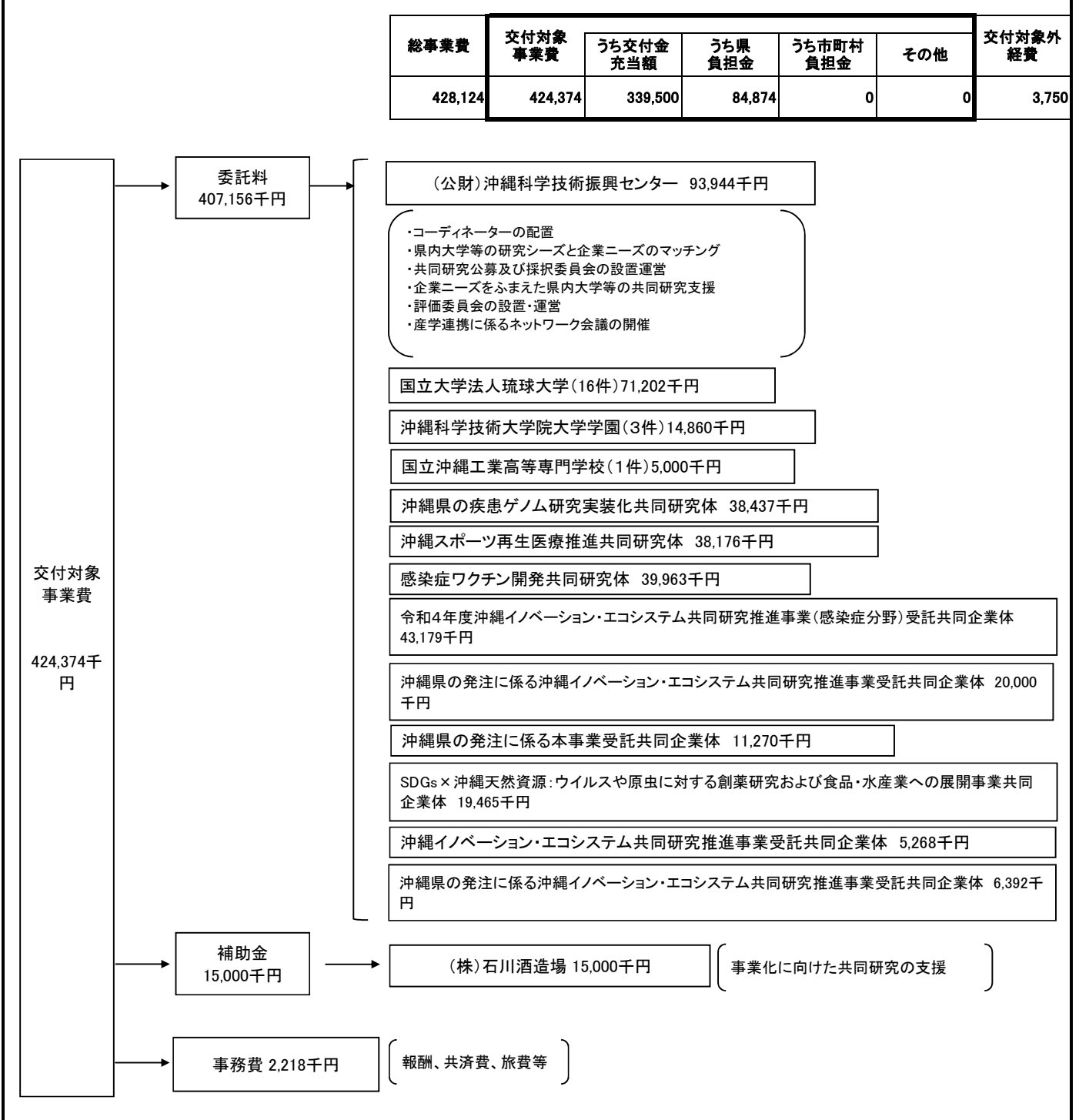
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8	沖縄イノベーション・エコシステム共同研究推進事業		新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(5)-ア-①		
担当部署名	企画部科学技術振興課	事業実施(予定)年度	H27 ~ R8 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	OIST等を核とした共同研究の推進等によるイノベーション創出拠点の形成 Ⅲ-5		
事業内容	オープンイノベーションを誘発し、イノベーション・エコシステムの形成を推進するため、沖縄科学技術大学院大学等を核とした共同研究等に対し、基礎研究から事業化研究まで、各段階に応じた支援を行う。また、形成されるイノベーション・エコシステムがより確実に沖縄県の社会経済に好影響を与えるものとなるよう、産業化等に向け一層の支援が求められている分野について重点的に支援する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R9年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	464,739	0	459,218		481,643
		(b)予算現額	464,739	0	459,218		461,035
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	▲ 20,608
		(d)前年度繰越額	0	10,266	0		0
	A. 計(b+d)		464,739	10,266	459,218	0	461,035
	B. 執行済額		437,866	9,566	431,615		424,374
	うち交付金充当額		350,294	7,651	345,293		339,500
	C. 次年度繰越額		10,266	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		94.2%	93.2%	94.0%	#DIV/0!	92.0%
予算の状況の説明		・イノベーション・エコシステムの形成を推進するため、大学等とのマッチング支援及び共同研究の実施等に係る委託料、補助金、報酬、旅費等を計上した。 ・執行率は92.0%であり、主に新型コロナウイルス感染症の影響による旅費、委託費の執行残によるものである。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	県内大学等による共同研究等実施	目標	産学共同研究支援5件	産学共同研究支援3件	産学共同研究支援3件	県内大学等共同研究実施	
		実績	産学共同研究支援4件	産学共同研究支援3件	産学共同研究支援3件	5件	
	大学等と企業の共同研究等実施(出口志向型)大学等と企業の共同研究等の成果を踏まえた事業化に向けた企業の研究開発支援	目標	22件	15件	17件	産学共同研究支援	
		実績	20件	16件	19件	20件	
	一層の支援が求められている分野の共同研究等実施	目標	3件	4件	6件	共同研究実施	
実績		5件	5件	6件	4件		
進捗状況説明	・研究成果の事業化を推進するため、支援終了後の共同研究49件に対してフォローアップを実施した。 ・県内外企業94社への訪問・ヒアリングを行った。						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R9年度)
	県内大学等による共同研究等実施	目標	-	産学共同研究支援3件	産学共同研究支援3件	県内大学等による共同研究等実施	-
		実績	-	産学共同研究支援3件	産学共同研究支援3件	5件	-
	大学等と企業の共同研究等実施(出口志向型)大学等と企業の共同研究等の成果を踏まえた事業化に向けた企業の研究開発支援	目標	-	15件	17件	産学共同研究支援	-
		実績	-	16件	19件	20件	-
	一層の支援が求められている分野の共同研究等実施	目標	-	4件	6件	共同研究実施	-
		実績	-	5件	6件	4件	-
	【R9成果目標】支援した研究成果が、企業等の共同研究参画につながった件数		目標	-	-	-	2件
	【R9成果目標】大学等や企業からの特許等出願件数		目標	-	-	-	10件
	【R9成果目標】研究成果が社会実装に向けた活動につながった件数(応用・発展的研究の実施、事業化補助金採択等)		目標	-	-	-	3件
達成状況説明	・研究成果が国内外の企業や研究機関との共同研究につながるなど、今後特に影響力を持つ可能性がある大学等を中心とした基礎研究5件を実施した。 ・本業務で配置したコーディネーターが県内大学等のシーズと県内外企業シーズの把握に努め、マッチングを図り、20件の共同研究を実施したことにより、前年度を上回ったことで目標達成した。 ・特に課題解決に向け支援が求められている感染症分野2件、先端医療分野2件を支援した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・OISTや高専の設立により、本県の研究人材の充実は図られているものの、事業化を担う県内企業には中小零細企業が多く、経営資源が乏しいため、研究開発の取組が十分に行えない状況にある。	・イノベーションエコシステム推進のため、事業化を担う企業の裾野を広げる必要があることから、県外企業も巻き込んだ研究開発の環境を整える必要がある。

今後の取り組み方針
<p>・イノベーション・エコシステム推進に向け、県内大学等と県内で事業化に向けた共同研究を実施する企業を引き続き支援する。</p> <p>・県内大学等の研究成果事業化を推進するためには、県内外企業も巻き込んだ環境整備が必要なことから、コーディネーターによるマッチングを強化する。</p>

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)
--



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・使途の点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、公募型プロポーザル方式にて提案内容、実績等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○契約額確定時において、執行状況に関する書類等は検査しており、適正だったと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	9 大学発ベンチャー創出志向型研究支援事業		新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(5)-ア-③ <small>大学発ベンチャー等の創出と高度研究人材等の活用等に向けた環境整備</small>			
担当部課名	企画部科学技術振興課	事業実施(予定)年度	H29 ~ R8 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	III-5		
事業内容	大学発ベンチャー創業リスクに対して、大学等における研究開発、事業化等の時期に応じた段階的な支援を行うため、事業化ハンズオン支援により、大学発ベンチャー創出を促し、県内の大学や研究機関・事業者間の共同研究・連携事業の間口を広げ、研究成果を実用化・社会実装することにより、県内のイノベーションエコシステムの構築を目指す。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R9 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】			R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度
	予算の状況	(a)当初予算額	25,806		25,243		21,616
		(b)予算現額	25,806		25,243		21,616
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	25,806	0	25,243	0	21,616
	B. 執行済額	23,666		19,614		19,242	
	うち交付金充当額	18,932		15,691		15,394	
C. 次年度繰越額	0		0	0	0		
執行率(%) (B/A)	91.7%	#DIV/0!	77.7%	#DIV/0!	89.0%		
予算の状況の説明	・執行率は89%であり、未執行の主な理由は、事務費のうち企画選定委員会等において手続きを簡素化し、旅費や報償金を節減したことによるものである。						
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標 事業化ハンズオン支援	目標	-	-	-	1件	
		実績	-	-	-	2件	
進捗状況説明	・大学発ベンチャーの創出に向けた研究者の支援について、琉球大学及びOISTの研究者2名に対して、起業に向けたハンズオン支援を行った。 ・うち1名においては、令和5年度に起業に向けた手続きを行う予定。						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(R2年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R9年度)
	①大学ごとの特色に応じた起業家育成プログラムの構築	目標	-	-	-	1件	-
		実績	-	-	-	1件	-
	【R9成果目標】 沖縄県内での大学発ベンチャーの創出数 (R2:23社 → R9:31社)	目標	-	-	-	-	31社
達成状況説明		①大学等において起業家育成プログラムの構築に取り組んでおり、目標を達成した。					

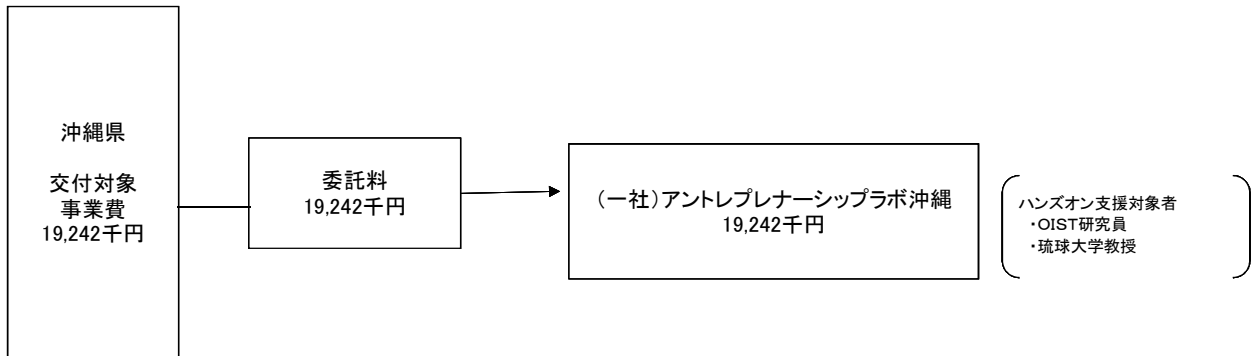
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 大学等の研究者は、起業を目指すものが少なく、起業に関心のある研究者においても起業に関する知識が乏しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 大学発ベンチャーである「共同研究ベンチャー」や「技術移転ベンチャー」についても、創出を促す必要がある。 起業に関心を示す研究者及び学生を増やすための取り組みをさらに強化する必要がある。

今後の取り組み方針

- 研究者等の起業に向けた課題を把握し、起業を目指す研究者等に対して、それらの課題解決のためのハンズオン支援を実施する。
- 「共同研究ベンチャー」「技術移転ベンチャー」創出に向け、県内大学等研究者のシーズを把握し、企業等とのマッチングを行う。あわせて、マッチング後に当該案件が円滑に事業展開されるよう、それらの課題解決のためのハンズオン支援を実施する。
- 大学発ベンチャー創出に関心を示す県内大学等の研究者等を増やすためのシンポジウムやセミナーを開催する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
19,242	19,242	15,394	3,848	0	0	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は令和4年度に公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認。適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12	高度研究人材等活用促進事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(5)-ア-③			
担当部署名	科学技術振興課	事業実施 (予定)年度	R4 ~ R6 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	大学発ベンチャー等の創出と高度研究人材等の活用等に向けた環境整備 Ⅲ-5		
事業内容	大学等の高度研究人材(ポスドク、修士課程以上人材)等の研究分野及び研究内容並びに民間企業における高度研究人材等を活用した研究ニーズをリサーチし、県内企業の研究開発ニーズと、そのニーズにマッチする研究分野・技能等を持つ高度研究人材等のマッチングを行い、これら人材を活用した企業開発研究の支援を行う。また、高専や学部生以上を対象とし、県内企業との交流を図るイベントや、県内企業が抱える課題をコンテスト方式で解決するイベント等を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額					15,313
		(b)予算現額					15,313
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額					0
		A. 計(b+d)	0	0	0	0	15,313
	B. 執行済額						15,005
	うち交付金充当額						12,004
	C. 次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.0%
予算の状況の説明		高度研究人材等の活用促進を図るため、令和4年度から新規事業として、県内企業の研究開発ニーズと、そのニーズにマッチする研究分野・技能等を持つ高度研究人材等のマッチング等に要する経費として委託料等を計上した。執行率は98.0%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標(指 標)及び 進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	高度研究人材等と県内企業とのマッチング活動: 理系大学等及び県内企業(3校、10社以上)への リサーチ	目標	-	-	-	3校・10社以上	
		実績	-	-	-	2校・18社	
	学生と企業をつなぐイベントの開催:3回	目標	-	-	-	3回	
実績		-	-	-	9回		
進捗 状 況 説 明	<ul style="list-style-type: none"> 理系大学等及び県内企業へのリサーチについては、事業の進捗を定期的に確認し概ね目標値を達成した。 学生と企業をつなぐイベントの開催については、事業の進捗を定期的に確認し目標値を達成した。 						
成果目標(指 標)及び 達成状況	R4成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (〇〇年度)
	高度研究人材等と県内企業とのマッチング:2件	目標	-	-	-	2件	-
		実績	-	-	-	3件	-
	学生のイベント参加者数:150名以上	目標	-	-	-	150名以上	-
		実績	-	-	-	344名	-
達成 状 況 説 明	<ul style="list-style-type: none"> 理系大学等及び県内企業へのリサーチ、学生と企業をつなぐイベントの開催により、高度研究人材等と県内企業とのマッチングが3件となり、目標を達成した。 学生と企業をつなぐイベントを9回実施したことにより、学生のイベント参加者数が344名となり、目標を達成した。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	県内へのバイオ産業関連企業等の集積に伴い、科学技術等専門人材の需要が増加しているが、人材確保に苦慮している企業が多数ある。	高度研究人材等への県内企業等の周知や県内企業等の高度研究人材等に対する理解が不足しているため、相互理解が適切に行われるよう双方の要望等を調査し、効果的に双方がつながる機会の創出を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
高度研究人材等と県内企業等とのマッチングの方法等については、双方にアンケート等の調査を行い、適宜改善を行いながら高度研究人材等と県内企業等のつながる機会の創出を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
15,005	15,005	12,004	3,001	0	0	0
<pre> graph LR A[沖縄県 交付対象事業費 15,005千円] --> B[委託料 15,000千円] A --> C[事務費 5千円] B --> D[株式会社沖縄TLO 15,000千円] C --- E[旅費] D --- F[高度研究人材等と県内企業とのマッチング等の実施] </pre>						
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目		評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託業者は、公募型プロポーザル方式により提案内容、業務体制、予算規模などを総合的に勘案して選定しており、妥当であると認められる。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目、使途については、金額の確定時に検査を行い、適正であると認められた。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号 ・事業名	13	大学発SDGs社会課題解決型プロジェクト創出事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(5)-ア-④			
担当部課名	企画部科学技術振興課	事業実施 (予定)年度	R4 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	社会課題解決型の科学技術プロジェクト創出支援 III-5		
事業内容	県内大学等の「研究成果」を活用し、「沖縄の社会課題」の解決策を創出するため、大学発社会課題解決型科学技術プロジェクトの創出に向けて取り組む。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度()						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額					48,180
		(b)予算現額					35,949
		(c)増減額(b-a)					▲ 12,231
		(d)前年度繰越額					0
		A. 計(b+d)					35,949
	B. 執行済額						26,292
	うち交付金充当額						21,033
	C. 次年度繰越額						0
	執行率(%) (B/A)						73.1%
予算の状況の説明		・予算額は主に委託費(社会課題解決型プロジェクトの創出に向けた支援・試験的社会課題解決型プロジェクト支援)を計上した。 ・執行率は73%であり、主に委託費の執行残が発生したことによるものである。					
活動目標 (指 標) 及び 進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	県内大学等による社会課題解決型プロジェクト創出の取り組み支援		目標	-	-	-	4件
			実績	-	-	-	4件
進捗状況説明		・県内大学の社会課題解決型科学技術プロジェクト創出に向けた取組について、目標通り4件を支援した。					
成果目標 (指 標) 及び 達成状況	R4成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (〇〇年度)
	大学発社会課題解決型プロジェクトの応募件数		目標	-	-	-	15件
			実績	-	-	-	11件
	達成状況説明		・本事業において研究成果を活用した社会課題解決型取組の事例集の配布や研究者向けセミナーを開催し、社会課題に取り組む研究者の増加を図ったが、大学発社会課題解決型プロジェクトの応募件数は、目標を達成できなかった。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①社会課題に取り組む研究者の増加等を図る必要がある。	①社会課題に関心を持つ研究者の増加を図るため、本事業の周知活動を継続する必要がある。 ②研究者と社会課題に取り組むステークホルダーとが連携しやすい仕組みづくりに向けた検討を進める必要がある。
今後の取り組み方針		
①本事業の周知のため、県内大学等の研究者向けのセミナーやワークショップの開催等、効果的な広報を実施する。 ②研究者と社会課題に取り組むステークホルダーが連携しやすい仕組みづくりに向けて、試験的取組を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
26,292	26,292	21,033	5,259	0	0	0


```

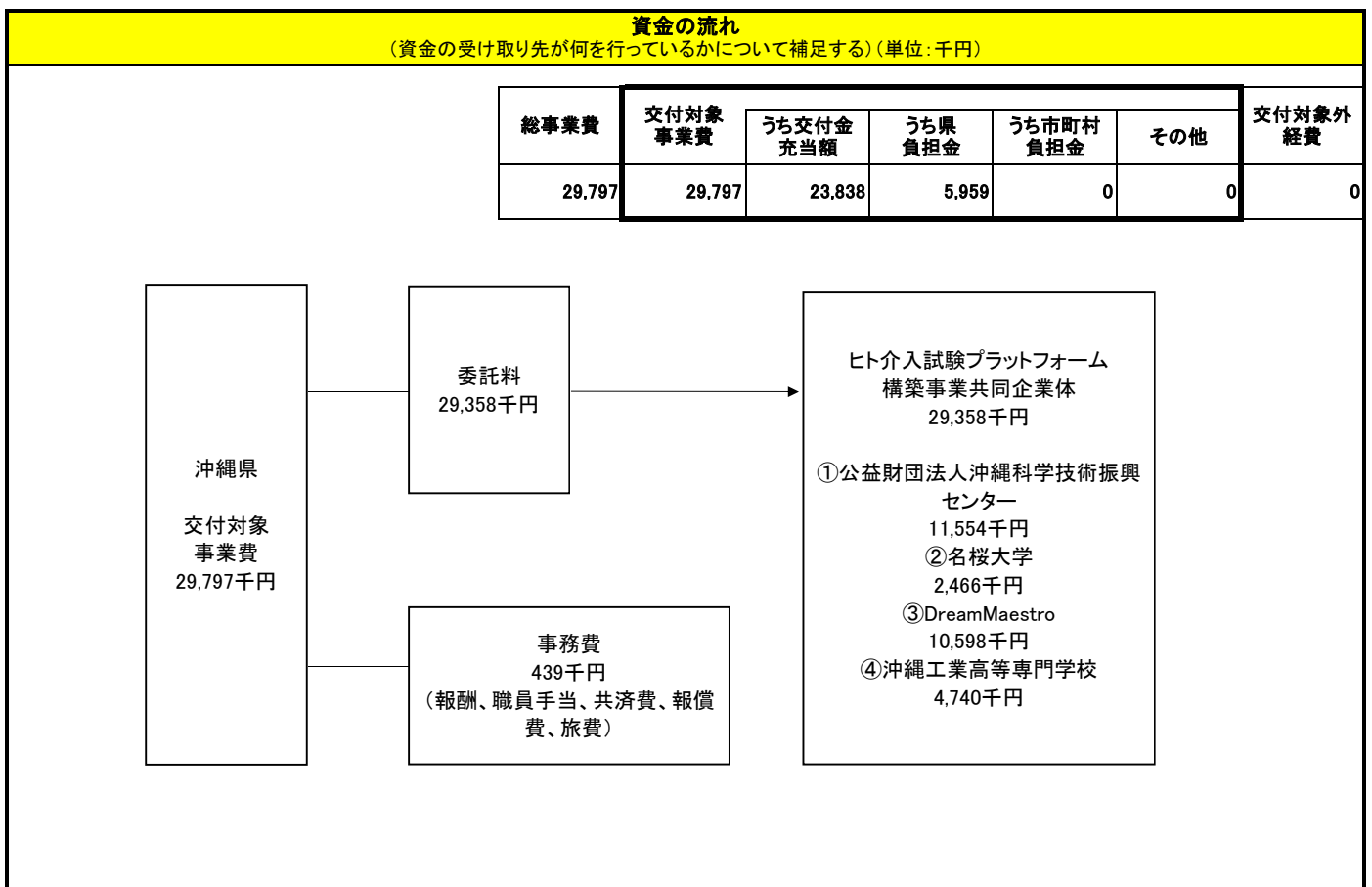
graph LR
    A[沖縄県  
交付対象  
事業費  
26,292千円] --> B[委託料  
26,128千円]
    A --> C[事務費  
164千円]
    B --> D[琉球大学  
18,081千円]
    B --> E[琉球大学  
5,284千円]
    B --> F[沖縄科学技術大学院大学  
2,763千円]
    D --- D1["(社会課題解決型プロジェクト創出に向けた取組(取組事例収集、セミナー開催等))"]
    E --- E1["(試験的科学技术プロジェクト支援 3件)"]
    F --- F1["(試験的科学技术プロジェクト支援 1件)"]
    C --- C1["(旅費、報償費)"]
  
```

資金の 用途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、企画提案プロポーザルで選定したため、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業報告書等进行检查し、適正であることを確認した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	11	ヒト介入試験プラットフォーム構築事業		新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(5)-イ-①			
担当部課名	企画部科学技術振興課	事業実施 (予定)年度	R4 ~ R6 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進 Ⅲ-5			
事業内容	現在、小規模でヒト介入試験を行っている県内の大学等による検証・研究機関を核とし、県内の食資源を活用する事業者が恒常的に参画できる仕組み・体制(プラットフォーム)を構築・強化する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和7年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度		
	予算の状況	(a)当初予算額					32,112	
		(b)予算現額					32,112	
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d)前年度繰越額					0	
		A. 計(b+d)	0	0	0	0	32,112	
	B. 執行済額						29,797	
	うち交付金充当額						23,838	
	C. 次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	92.8%	
予算の状況の説明		<p>・県内大学等を核としたヒト介入試験を恒常的に利用できる仕組み・体制を構築・強化するためプラットフォーム構築に要する経費として委託費等を計上した。</p> <p>・執行率は92.8%であり、主に新型コロナウイルス感染症の影響による旅費の執行残。</p>						
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	ヒト介入試験に関する採択件数		目標	-	-	-	1件	
			実績	-	-	-	1件	
進捗状況説明	・対象となる共同企業体を公募し応募者の研究提案書等を審査の上、1件を採択した。							
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (〇〇年度)	
	共同研究に参画する事業者:(産)1者、(学)2者		目標	-	-	-	実施	-
			実績	-	-	-	実施	-
	【R7成果目標】 プラットフォームによる商品開発案件		目標	-	-	-	-	2件
	達成状況説明	(産)1者、(学)2者の事業者が参画する共同研究を実施し、目標を達成した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は試験の実証が主なテーマとなったが、その他、将来のプラットフォーム自走化(運営)に必要な課題を洗い出す必要がある。 将来は関連業界団体(沖縄県健康産業協議会等)がプラットフォームを利用できるようにする必要がある。 	令和4年度は一企業の特定商品を用いたヒト介入試験を行ったが、他の企業が試験結果を利用し、それを元に商品開発できるようなケースも想定する必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度以降のプラットフォームの自走化(運営)に必要な事項について、先進地(北海道等)の状況を踏まえながら、収益計画や活動目標等を洗い出し、自走可能な運営計画を具体化する。 県内の業界団体による当該プラットフォームの利用が誘発されるよう、関係機関と連携又は調整を行い、必要な事項についてプラットフォームの構築に反映させる。 将来、自走化するプラットフォームにおいて複数企業が試験結果を活用できるよう、検証する素材や物質について、特定の商品に依らない試験を試みる。 		



資金の流 れ、費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者は公募型プロポーザル方式により提案内容、企業組織、委託業務実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

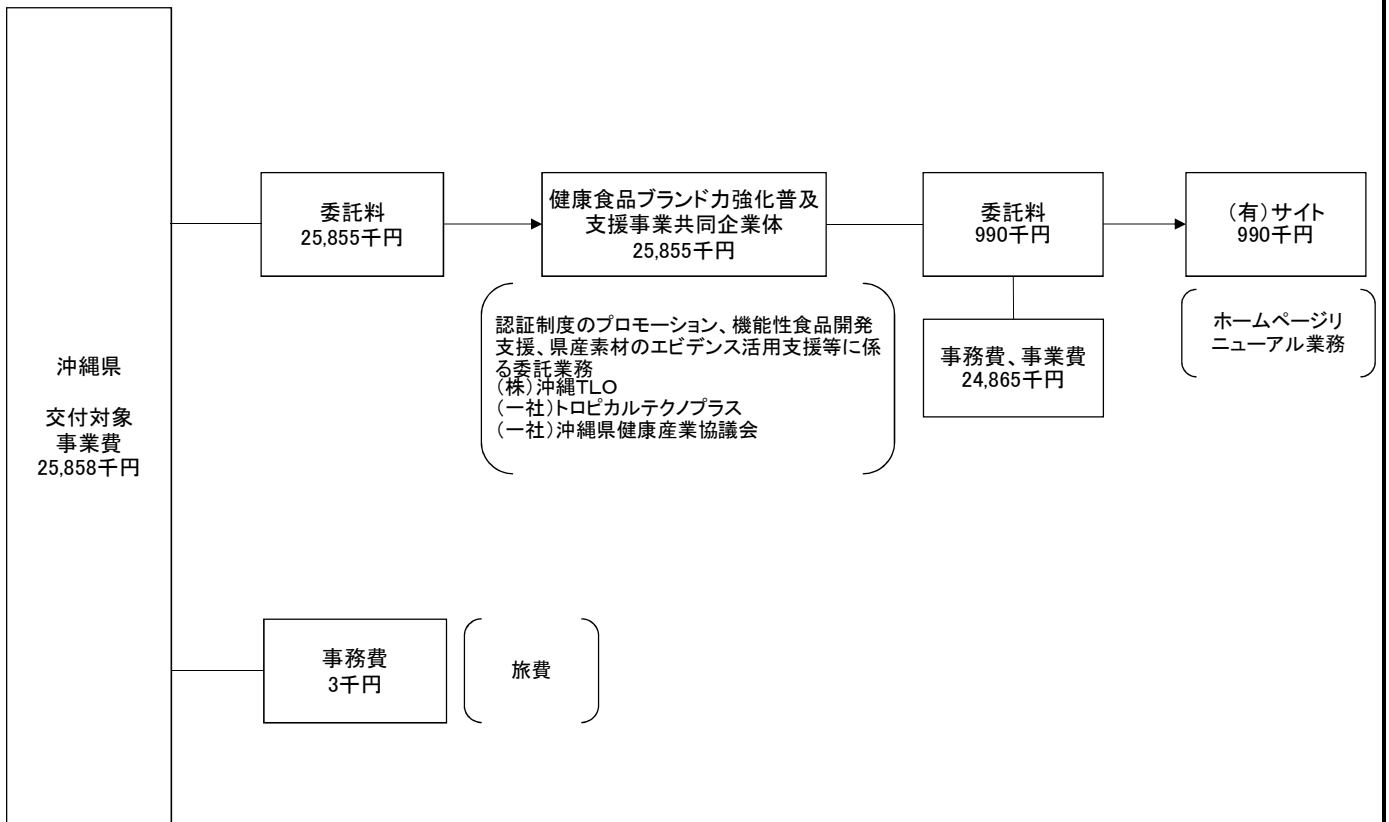
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	103 健康食品ブランド力強化普及支援事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(5)-イ-①				
担当部署名	商工労働部ものづくり振興課	事業実施(予定)年度	H28 ~ R6 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進 III-5	
事業内容	ブランド推進体制(プラットフォーム)による業界支援を行う。 ・機能性食品開発のハンズオン支援 ・県産素材のエビデンス活用支援 ・認証制度のプロモーション						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	37,500		38,342		28,087
		(b)予算現額	37,500		38,342		28,087
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	37,500	0	38,342	0	28,087
	B. 執行済額		35,266		36,991		25,858
	うち交付金充当額		28,213		29,593		20,686
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		94.0%	#DIV/0!	96.5%	#DIV/0!	92.1%
予算の状況の説明		・県産健康食品のブランド力強化のため、令和4年度から新規事業(平成31~令和3年度で実施した健康食品ブランド化推進強化事業の後継事業)として、認証制度のプロモーション、機能性食品開発支援、県産素材のエビデンス活用支援等を行う経費として委託料を計上した。 ・執行率は92.1%であり、主に委託料の確定減(2,140千円)によるものである。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	認証取得商品数	目標				5件	
		実績				4件	
	エビデンスの活用件数	目標				3件	
		実績				5件	
	プロモーション回数	目標				県内2回 県外1回	
		実績				県内3回	
	進捗状況説明	・認証審査会を2回開催し、4社4商品が認証された。 ・認証商品申請及び機能性表示食品届出に関する支援で当事業(過年度事業含む)で作成したエビデンスを5件活用した。 ・沖縄の産業まつり、沖縄大交易会、うまんちゅ健康フェスタへ出展し、認証制度の紹介や試供品の配布等、プロモーションを実施した。					
	成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度
認証商品の売上の前年比の平均値5%増		目標				5%	
		実績				6.3%	
達成状況説明		展示会出展や県内2紙への新聞広告、認証制度ホームページの改修等のプロモーション活動により、認証商品の売上の前年比の平均値は6.3%(R4.11月時点)となり、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・ブランド認証制度の安定した運用のため、商品開発等のハンズオン支援により認証商品を増やしていくとともに、認知度を向上させ認証商品の売上げを伸ばしていく必要がある。</p>	<p>・認証商品開発等へのハンズオン支援により認証商品を増やし、ブランド認証制度の認知度の向上と認証商品の売上げの増加に繋がる効果的なプロモーションを実施する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・認証商品数、売上の増加のため、展示会出展や健康関連団体との連携等を実施し認証制度のプロモーション活動を強化する。</p> <p>・認証商品数増加のため、商品開発のハンズオン支援、県産素材のエビデンス活用支援を実施する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
25,858	25,858	20,686	5,172	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は企画提案プロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考える。</p> <p>○予算規模については事業実施内容から適正な規模であったと考える。</p> <p>○費目・用途については額の確定時に適正である事を確認した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	104	健康・医療データサイエンス人材育成事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(5)-イ-①			
担当部課名	商工労働部ものづくり振興課	事業実施(予定)年度	H31 ~ R6 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進 III-5		
事業内容	バイオデータの解析・加工等ができる人材育成プログラムを開発し、技術者を育成する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	18,500		14,734		19,800
		(b)予算現額	18,500		14,734		19,800
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	18,500	0	14,734	0	19,800
	B. 執行済額		17,787		13,424		18,763
	うち交付金充当額		14,230		10,739		15,010
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		96.1%	#DIV/0!	91.1%	#DIV/0!	94.8%
予算の状況の説明		・バイオデータの解析・加工等ができる技術者(バイオインフォマティシャン)を育成するため、人材育成プログラムの開発・実施に要する経費として委託料を計上した。 ・執行率は94.8%であり、主に委託料の確定減(698千円)によるものである。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	人材育成プログラムの実施(基礎レベル受講者30名)	目標				30名	
		実績				47名	
	人材育成プログラムの実施(実務レベル3~5名)	目標				3~5名	
実績					3名		
進捗状況説明	・基礎講座(初級コース・中級コース)と実務研修を実施した。(※基礎講座受講者の人数はオンデマンド受講者を含まない) ・初級コースは座学4回、実習2回、中級コースは座学10回、実習5回をオンライン・オンデマンド形式で開催した。実務研修は3テーマ実施した。						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(〇〇年度)
	バイオインフォマティクス技術者認定試験合格者数	目標				8名	
		実績				5名	
	達成状況説明	基礎講座においてバイオインフォマティクス技術者認定試験の過去問を用いる講座や、模擬試験的な講座を実施したが、目標達成には至らなかった。					

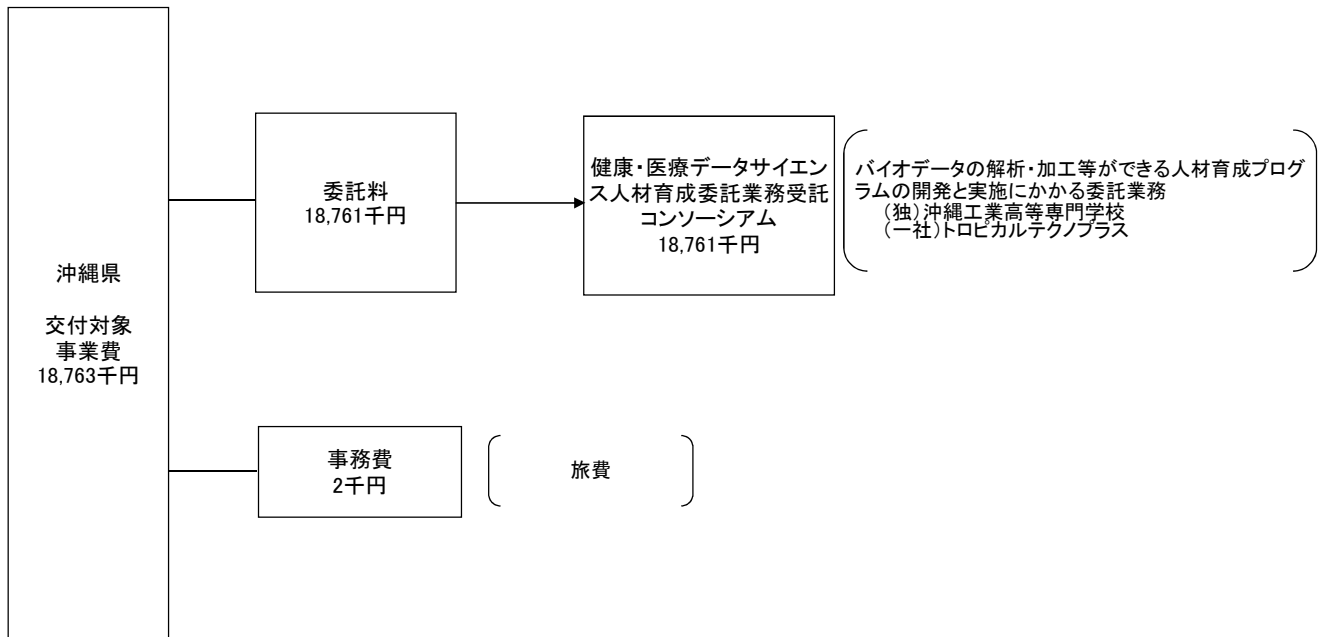
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①講座登録者の参加率を上げる必要がある。 ②技術者認定試験の受験者を増やす必要がある。	①参加率が低くなる要因は、講座の難度と関係していることが考えられる。受講者の理解度や満足度についてアンケート調査を行い、参加率を上げる方法を検討する必要がある。 ②事業の取組について広く周知し、講座受講者を増やす必要がある。講座受講者のうち、より多くの受講者が認定試験を受験する必要がある。

今後の取り組み方針

①受講者のアンケート調査などを参考にフォローアップ対応を検討する。
 ②バイオインフォマティクスの活用事例や必要性を様々な業種の方に周知し、本講座の受講に繋げる。技術者認定試験の合格者を増やすため、試験合格を目標にした少人数のコースを新たに設置する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
18,763	18,763	15,010	3,753	0	0	0



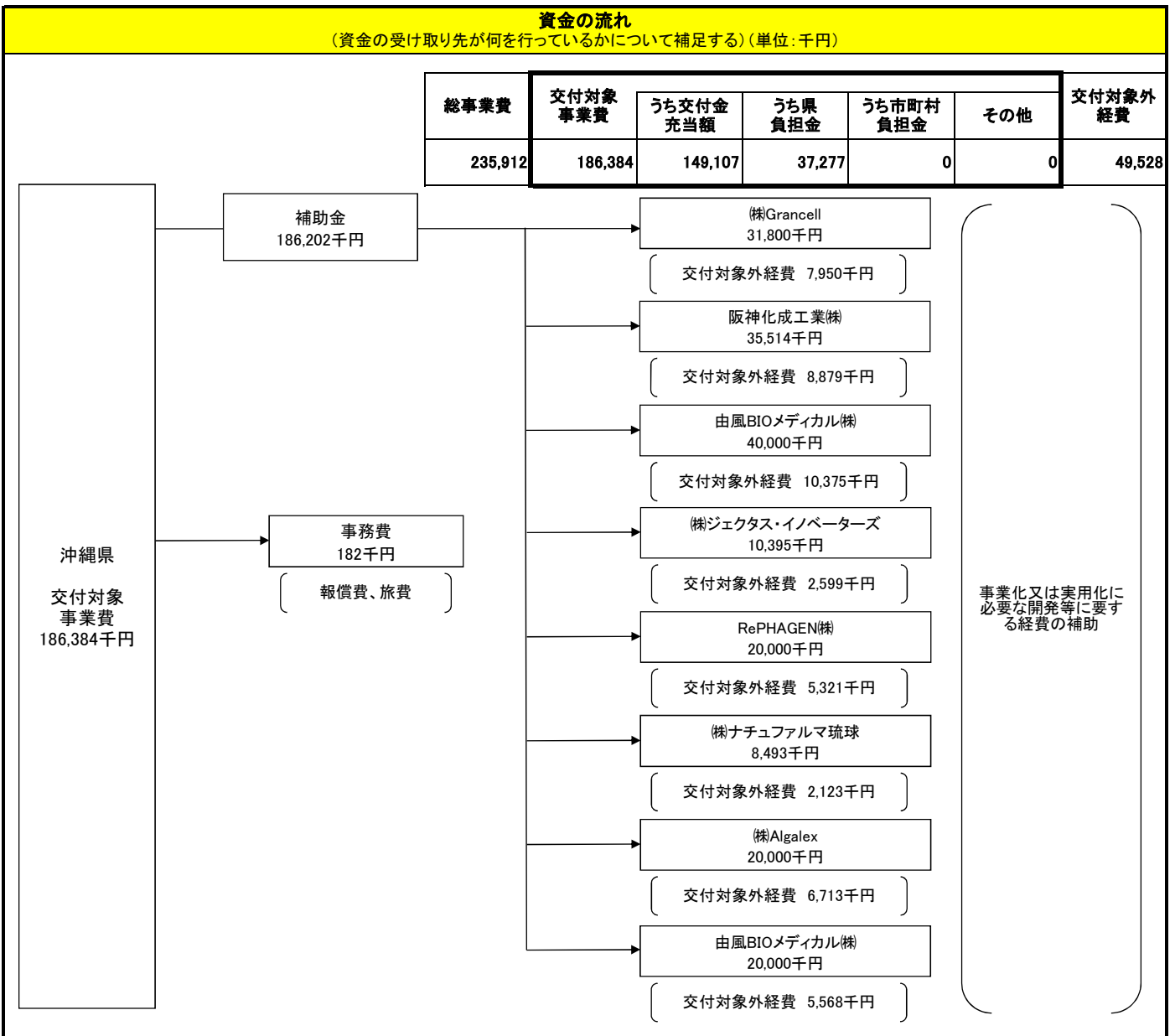
資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企画提案プロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模については要望調査、人材育成プログラムの開発・実施等の実施内容から適正な規模であったと考える。 ○費目・用途については額の確定時に適正である事を確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	105	バイオ関連産業事業化促進事業		新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(5)-イ-②		
担当部課名	商工労働部ものづくり振興課	事業実施(予定)年度	R4 ~ R6 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	先端医療分野における実用化の促進 III-5	
事業内容	バイオ関連分野の産業化を促進するため、県内バイオ企業等の事業化の取組に対し支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額					201,588
		(b)予算現額					201,588
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	0	0	0	0	201,588
	B. 執行済額						186,384
	うち交付金充当額						149,107
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	92.5%
予算の状況の説明		・バイオ関連分野の産業化促進を図るため、令和4年度から新規事業として、県内バイオ企業の製品化・事業化に向けた支援に要する経費として補助金等を計上した。 ・執行率は92.5%であり、主に補助金の執行残が発生したことによるものである。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	支援件数	目標				7件以上	
		実績				8件	
進捗状況説明	・県内バイオ企業の事業化等のに向けた取組を公募し、審査によって採択された8件の取組を補助事業にて支援を行ったことで、活動目標を達成した。						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(〇〇年度)
	採択企業の実用化に向けた課題に対する成果達成件数		目標			7件以上	
			実績			22件	
	達成状況説明	①成果目標である「採択企業の実用化に向けた課題に対する成果達成件数」については、採択企業8社が設定した全29課題のうち、達成実績が22課題であり、目標値を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①採択企業の実用化等に向けた課題は着実に達成されていることから、引き続き成果目標達成に向けた支援が必要である。	①採択企業が設定した課題の内、未達成となった課題については、原因を分析し、対応を検討する必要がある。

今後の取り組み方針
①引き続き、採択企業の事業化等に向けた支援を継続するとともに、未達成となった実用化に向けた課題については、原因をヒアリングし、着実に成果目標を達成できるよう必要な対応と進捗管理を行う。



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は、公募を実施した上で、審査委員会で事業の内容を審査し選定したため、妥当であったと考える。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	106	バイオ関連企業経営支援事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-3-(5)-イ-①		
担当部署名	商工労働部ものづくり振興課	事業実施(予定)年度	R4 ~ R9 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進 Ⅲ-1-4	
事業内容	県内バイオ関連企業等の研究成果の事業化、または既に事業化している案件の販路開拓・事業拡大等を行うため、事業内容や研究成果の情報発信、企業とのマッチング、事業・資金計画作成支援等を行うとともに、企業ニーズに則した人材育成プログラムを実施することで、資金調達、人材の確保及び育成、販路開拓等の課題解決支援を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和6年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	0	0	0	0	41,469
		(b)予算現額	0	0	0	0	41,469
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	0	0	0	0	41,469
	執行率(%) (B/A)	B. 執行済額	0	0	0	0	40,285
		うち交付金充当額	0	0	0	0	32,228
		C. 次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.1%
予算の状況の説明	県内バイオ関連企業等の経営課題解決を支援するため、令和4年度から新規事業として、事業・資金計画作成支援や企業とのマッチング等に要する経費として委託料等を計上した。 執行率は97.1%であり、概ね計画的に執行できた。						
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	企業の課題解決支援	目標	—	—	—	10社	
		実績	—	—	—	17社	
	人材育成プログラム実施	目標	—	—	—	2種かつ20名以上	
実績		—	—	—	3種かつ累計20名以上		
進捗状況説明	・企業の課題解決支援は、事業化に向けて経営に課題のあるバイオ関連企業を公募し、審査によって採択された17社へ支援を実施した。 ・人材育成プログラムについても、目標値を達成できた。						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(R4年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R5年度)
	資金計画作成等各社の課題解決	目標	—	—	—	10社	10社
		実績	—	—	—	17社	10社
	【R 成果目標】	目標					
達成状況説明	成果目標である資金計画作成等の課題解決については、各社に対してハンズオン支援を実施した中で事業計画書の見直しと分析し、支援企業の17社において事業計画書の見直しを図り、目標を達成できた。						

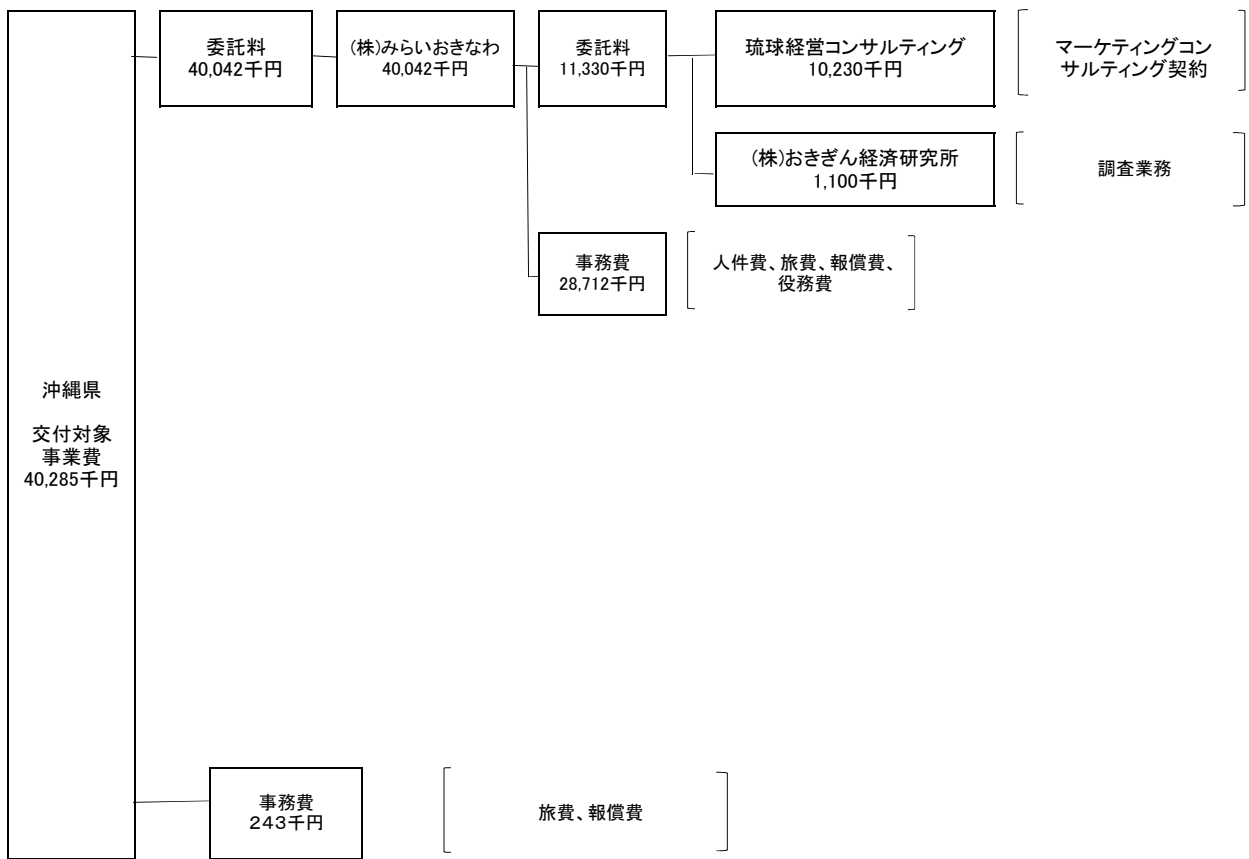
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①資金調達を実施するために重要な資金計画や事業計画等の作成を今後も継続する必要がある。 ②各社の支援フェーズが異なっているため、引き続き適切な支援方法を検討する必要がある。	①各社に対して、経営課題に関する支援の更なるニーズ調査を実施し、ニーズの把握及び分析を行う必要がある。 ②各社の支援フェーズを確認するために、県、受託事業者及び支援対象企業との面談を通して、連携を深めていく必要がある。

今後の取り組み方針

- ①支援対象企業への経営課題に関する支援のニーズを把握・分析するために、利用者にアンケートを実施する。
- ②各社との面談を実施するために、県、受託事業者及び支援対象企業との連携を深め、連絡体制を構築する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
40,285	40,285	32,228	8,057	0	0	0



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、企画提案プロポーザルでの事業内容によって選定したため、妥当であったと考える。 ○費用・使途については、事業報告書及び費用内訳書を検査し、適正であることを確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	